

耐熱型鉄粉高配合コーティングパテ材

JIC METAL N

施工要領書

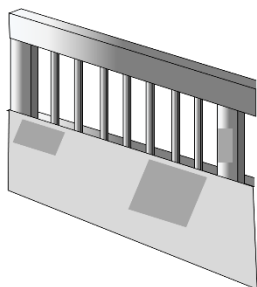


本社/〒651-2116 神戸市西区南別府 1 丁目 14 番 6

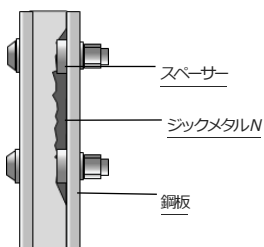
TEL:078-974-1388 FAX:078-974-1393

ジックメタルNは高強度の特殊樹脂に特殊鉄粉を高配合しており、鋼板・ステンレスなどの金属全般に高い付着性を発揮します。さらに耐熱性・絶縁性を有しており、鋼板など部材温度が上がる（耐熱温度120℃）部材にも対応可能。専用のガラス繊維シートを併用することでシート状での施工を可能にした鋼構造物全般に使用可能な耐型鉄粉高配合コーティングバテ材です。

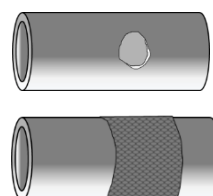
使用用途



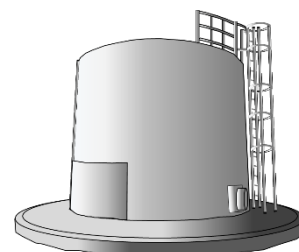
○歩道橋のガードrail 手すり・鋼製地盤の補修



○当て板不陸修正



○配管の補修



○鋼製タンクの補修、他ステンレス製
アルミ等の補修

使用材料

○使用材料

材料名	荷姿	標準配合	摘要範囲(外気温)
ジックメタルN	1 kg セット	【1 kg セット】 主剤 0.9 kg + 硬化剤 0.1 kg	施工時の気温 5℃～35℃
ガラス繊維シート	50 cm × 1 m	—	—



ジックメタルN



ガラス繊維シート

施工フロー及び施工要領

○施工要領

1. 下地処理・清掃

- ・既設部の腐食部を撤去、金属素地面を粗面に仕上げます。（2種または1種ケレン）
- ・アセトンなどで油分や水分・錆・汚れ・ほこりを除去します。
ほこりなどがあると付着を阻害する恐れがあります。

2. ジックメタルN練り混ぜ

重量比	
主剤	硬化剤
9	1

- ・重量比で主剤9：硬化剤1（容積比重9：2）を計量し色むらがなくなるまで十分に練り混ぜます。
- ・プラスチック等の板の上で硬めのヘラやカワスキですり潰すように混合を行うと均一に練り混ぜしやすくなります。
- ・冬場・寒冷地域などで使用する場合は粘度が高くなりやすいため、湯煎を行うと作業性が向上いたします。

【注意点】

- ・混合比を守り、色むらがなくなるまで練り混ぜて下さい。練り混ぜが不十分ですと硬化不良になる恐れがあります。
- ・湿度85%以上の環境下での施工は避けてください。硬化不良の原因になる恐れがあります。
- ・夏場など30℃以上の気温の場合発熱・発煙を起こすことがありますのでご注意ください。
- ・可使時間内に使用可能な範囲でご使用下さい。
- ・本製品はシンナーなどによる希釈は出来ません。

3-A. ジックメタルN塗り付け

1セット当りの施工可能面積	
厚み	面積
2.0 mm	0.217 m ²
4.0 mm	0.109 m ²
6.0 mm	0.072 m ²

- ・下地に馴染むように力を入れて薄く擦り込みながら塗ったあとに、所定の厚みを塗り付けて下さい。
- ・低温時や寒冷地の施工の場合、本製品または素地を湯煎などで20～30℃程度温めてから練り混ぜ、または塗り付けを行うと硬化が早まります。
- ・塗り付けたあとにヒーターで加熱すると3～6時間程度で硬化します。

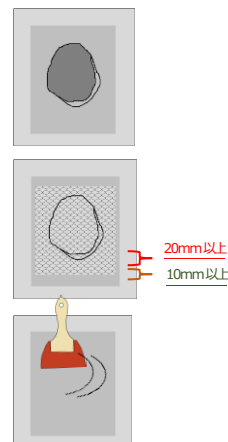
3-B. ガラス繊維シート併用工法

- ・孔食部での補修はガラス繊維シートを併用し補修して下さい。

(1) 孔食部の周辺に 20 mm 以上張り出しジックメタル N を薄塗りして下さい。

(2) ジックメタル N を塗り付けた後にガラス繊維シートを孔食部から 20 mm はみ出すように貼り付けて下さい。

(3) ガラス繊維シートの上から再度ジックメタル N を塗り付けます。
ガラス繊維シートから 10 mm 張り出し塗り付けるようにして下さい。
端部の浮きを抑えるように施工して下さい。



4. 仕上げ

- ・ジックメタル N がゲル化したらゴム手袋をつけた指先にアセトン等の有機溶剤をつけて表面を平滑に仕上げてください。
- ・硬化後に平滑にする場合はサンダーやサンドペーパー等で平滑に仕上げて下さい。
- ・凹凸が残っている場合、上塗り材や補修テープの施工に支障をきたしますので注意してください。

※本製品には耐候性はありません。屋外で使用した場合には変色等の異常が発生する可能性が高いので本製品の上に耐候性のある上塗り材等をご使用ください。

注意事項

- 製品の保管・使用は、5℃以上 35℃以下に行ってください。
- 容器の蓋を密閉状態にし、直射日光の当たらない冷暗所に置き保管して下さい。
- 火気、熱源から遠ざけて保管して下さい。
- 取扱いに関する詳細な注意事項は SDS をご参照ください。
- 内容物及び容器は国/都道府県/市町村の規則従って破棄してください。
- 屋外での本製品単体の使用は推奨しておりません。